

事業番号	8 04 36	事業改善シート (26年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	漁業指導事業				担当課	農政部 園芸畜産課
総合5か年計画	プロジェクト	1-3 夢に挑戦する農業		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	S25 ~	

1 事業の概要

目指す姿	漁業協同組合による河川環境の保全と漁場の利用促進等を図り、漁場が魅力ある地域資源となるようにする。また、漁場を活性化することにより漁業協同組合の経営の安定化と、適切な漁業権の管理、行使を図る。	
現状 (予算編成時)	アユの不漁等により遊漁者、漁業者が減少し、漁協の経営状況が悪化している。(30漁協中H24:単年度赤字10漁協、累積赤字11漁協)	
県が関与する理由	県でなければ実施不可 (法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 漁業権免許:漁業法第10条、内水面漁場管理委員会:漁業法第130条、地方自治法第180条の5 組合検査:水産業協同組合法第123条により県の業務とされているため県が実施。
	県民との協働による実施: 実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漁場の総合的な利用や漁業生産の発展を図るため、内水面漁場管理委員会を3回開催する。 ○ 漁協の法令遵守と健全な運営を図るため、10漁協の検査を実施する。 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績			
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)	
1 内水面漁場管理委員会の運営	直接	・内水面議場管理委員会の開催(3回) (国庫定額)		1,256	944	1,225
2 漁業指導調整事業	直接	・漁業協同組合の法令遵守等の指導 (国庫1/2)		264	117	264
3 組合検査指導事業	直接	・漁業協同組合の業務、会計状況の検査(10漁協)		38	311	38
4 漁場利用調整事業	直接	・漁業権者の申請に基づく協議会の設置		-	-	40
			合計	1,558	1,372	1,567

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,586	4,277	1,558	1,567
	補正予算	410			
	合計(A)	1,996	4,277	1,558	1,567
	一般財源	907	1,501	882	872
	県債				
	国庫支出金	660	645	645	664
	その他(手数料等)	429	2,131	31	31
	決算額(B)	1,622	3,653	1,372	
概算人件費	職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90
概算人件費	概算人件費(C)	7,432	7,432	7,432	7,432
概算事業費(B(A)+C)		9,054	11,085	8,804	8,999

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
委員会の開催	4回	3回	3回	達成	3回
組合検査の実施	10漁協	10漁協	10漁協	達成	10漁協

目標に対する成果の状況	目標どおり漁場の有効利用と環境保全を推進するために内水面漁場管理委員会を開催するとともに、漁業協同組合の業務の改善を図るため、常例検査等による指導を実施した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 漁場が魅力ある地域資源となるように、内水面漁場管理委員会の運営や漁協の常例検査の実施を通じて、漁業協同組合による漁場の利用促進及び河川環境の保全等を図っていく。
-------------------	---